

施策評価シート (平成23年度の振り返り、総括)

作成日 平成24年 04月 06日

施策 No.	5	施策名	道路ネットワークの整備
主管課名	建設課	電話番号	0285-84-8147
関係課名	都市計画課、区画整理課、環境課、商工観光課、企業誘致課、長田区画整理指導室		

施策の対象	市内の道路とその利用者								
対象指標名	単位	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度実績	26年度見込
道路延長(市道)	km				1,248.4	1,252.8	1,274.1	1,274.8	1,249.0
国・県道路延長	km				155.0	155.8	156.0		

施策の意図	幹線道路の整備を促進するとともに道路網の整備を進め、効率的で機能的な道路ネットワークを形成する。								
成果指標設定の考え方及び指標の把握方法(算定式など)	「市道道路改良率」及び「市道道路舗装率」は道路台帳による。 「都市計画道路整備率」は実施済延長/計画延長(都市計画課)。								
成果指標名	単位	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度実績	26年度基本計画目標値
市道道路改良率	%				80.7	81.2	72.1	72.3	83.1
市道道路舗装率	%				88.4	88.8	94.6	95.3	92.4
都市計画道路整備率	%				81.2	82.9	83.1	83.4	90.4

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担	住民の役割は事業への理解と協力。 行政は道路ネットワークを考慮した積極的取り組み。
-------------------------	--

1. 施策の成果水準とその背景（近隣他市や以前との比較、特徴、その要因と考えられること）

(1) 施策成果の時系列比較（過去3年間の比較）

道路延長は、平成22年度に土地区画整理の事業完了に伴い区画道路を認定したため、実延長が21.3km増加したが、23年度は改良予定道路等だけの認定であったため、0.7kmの増加にとどまった。また市道改良率は、平成22年度に道路構造令の基準（幅員4m以上）に基づき道路台帳を見直した結果、11.0kmが幅員4m未満であったので改良率が9.1%減少した。平成23年度は、道路改良事業の実施に伴い0.3%増加した。さらに舗装率についても、22年度に区画道路等の認定により5.8%増加しているが、23年度は道路舗装新設事業分の0.7%の増加であった。

都市計画道路整備率は道路改良事業により年々微増ながら増加している

(2) 近隣他市との比較

道路改良率（72.1%）は県内14市中5位、郡内の比較では芳賀町（88.7%）、市貝町（81.9%）につき3位であった。（平成22年度末比較）

近隣他市：宇都宮市：79.0%、小山市：69.6%、下野市：62.7%

舗装率（94.6%）は、県内14市中、宇都宮市につき2位、郡内の比較では1位であった。（平成22年度末比較）

近隣他市：宇都宮市：95.4%、小山市：91.5%、下野市：83.5%

都市計画道路整備率（83.4%）は県内14市中1位であった。

(3) 住民期待水準との比較

市民意向調査によると「道路の整備状況が良いと感じている市民の割合」は平成23年度で61.6%であった。道路改良事業、区画整理事業により幹線道路や区画整理地内の生活道路の整備は図られているが、地域の生活道路改良の整備について、市内各地から数多くの要望が出されている。（23年度末要望数145件）

23年度の  
評価結果

2. 施策の成果実績に対してのこれまでの主な取り組み（事務事業）の総括

国道整備促進

一般国道294号は、鶴田工区の交通安全施設（歩道）整備を実施している。八條工区の改良工事については、引き続き要望していく。

一般国道121号の真岡市清水交差点から益子町塙北交差点（延長1.5km 内、真岡市地内500m）の区間については、平成23年度に工事を完了した。

鬼怒テクノ通り（一般国408号バイパス）は、真岡上三川線から国道121号までの区間が供用開始となり、現在、真岡宇都宮バイパスについて、平成25年度供用開始に向けた工事を実施している。

県道・市道の整備促進

主要地方道栃木二宮線は、一般国道294号バイパスまでの延伸について、地元説明会、路線測量を実施した。

一般県道真岡岩瀬線は、小林地内及び田町地内の区間について工事を実施している。

都市計画道路駅前東口線の田町地内（743m）については、引き続き工事を実施している。

一般県道西田井二宮線の小貝川西工区については、引き続き工事を実施している。石島工区については、地元説明会、路線測量を実施した。

一般県道石末真岡線の飯貝、堀内地内については、地元説明会、路線測量を実施した。

市道107号線（井頭・西郷線）は、主要地方道宇都宮真岡線から芳賀広域農道までの区間、1.9Kmが供用開始し、引き続き芳賀広域農道から国道121号までの区間1.5Kmの整備を実施している。

都市計画道路長田中線の延伸については、中村南部道路整備促進協議会と通過ルートについての打ち合わせを実施した。

石島地内の大和田産業団地進入道路は、関連事業である一般県道西田井二宮線整備事業及び石島地区土地改良事業との調整会議を実施した。

3. 施策の課題認識と改革改善の方向

鬼怒テクノ通り真岡南バイパス(主要地方道真岡上三川線～国道294号バイパス)の整備促進。

国道294号4車線化整備促進(久下田、石島、寺内)。

都市計画道路長田中線の延伸。

一般県道道西小埜真岡線道路改良促進(島、小林、根本)。

主要地方道栃木二宮線の延伸。

一般県道西田井二宮線の整備促進。

主要地方道つくば真岡線の整備促進。

一般県道石末真岡線の整備促進(芳賀広域農道から一般国道121号までの1.4Km)。

老朽化した道路舗装の計画的な修繕。

渋滞箇所の把握及び改善。

23年度の  
評価結果

補足事項